

研究集会「マイクロデータから見た我が国の社会・経済の実像」の開催について

一橋大学経済研究所
社会科学統計情報研究センター

本センターでは、統計マイクロデータを用いた実証分析についての研究集会を以下の通り開催いたします。本研究集会では、政府統計の調査票情報及び匿名データ等マイクロデータを利用した実証研究の成果を報告していただきます。前回に引き続き、統計法の改正に伴い匿名データを利用することが可能となった大学院生による研究報告も行うこととしました。

1. 開催日時及び場所

(1) 開催日時

平成 26 年 3 月 8 日（土）10：30～17：00

(2) 開催場所

一橋大学 国立東キャンパス第 3 研究館 3 階研究会議室

アクセス：<http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/access.html>

建物配置図：<http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/index.html>

2. プログラム

第 1 部 10：30～12：00 匿名データ利用による実証分析（研究報告）

①中村京介（一橋大学経済学研究科修士課程 2 年）

「高齢女性の労働供給に配偶者の退職が与える影響」（就業構造基本調査）

②細野高道（一橋大学経済学研究科修士課程 2 年）

「就業構造基本調査から見る日本の長期失業者について」

③石田賢示（東北大学博士課程後期 3 年）

「若年層の転職意識・転職行動の構造」

－就業構造基本調査匿名データを用いた実証分析－

④森山智彦（同志社大学）

「貧困リスクの高まりは生活意識にどのような影響を与えているか」

－国民生活基礎調査匿名データを用いた世帯主の年齢コーホート別分析－

(昼食)

第 2 部 13：10～14：00 匿名データの利用方法（案内）

①一橋大学を窓口とした利用方法

②一橋大学が実施する「政府統計匿名データ利用促進プログラム」

第3部 14:15~17:00 ミクロデータ利用による実証分析（研究報告）

①佐藤一磨（明海大学）

「日本における転職コストの再推計」（慶應義塾家計パネル調査）

②前田佐恵子（内閣府経済社会総合研究所 特別研究員）

「税・社会保障制度の再分配効果と財政負担について～SNA 分布統計を用いて」（全国消費実態調査）

③村田磨理子（公益財団法人 統計情報研究開発センター）

「法人企業統計と貸金構造基本統計のパネルデータ化と存続・退出の分析」

④栗原由紀子（弘前大学）

「企業の判断情報における予想パフォーマンスと予想誤差について」

3. 参加申込み

(1) 参加費 無料

(2) 申込先 メールにて平成26年3月7日(金)正午までに申し込みください。
(件名は【研究集会申込】とし、本文に所属、氏名を書いてください。)

micro@ier.hit-u.ac.jp

一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター
ミクロデータ分析セクション